

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和5年4月(2023年) No.688

作品のテーマ選びに悩んでいませんか？

会長 合原一夫

ビデオ作品を作りたいが何を撮ったらええんか、テーマが無い、とよく嘆いておられる方が多い。よいテーマが其処此処に転がっているわけではない。まず、待つのではなく、見つけ出すことである。私は故郷の九州へ時々帰っては撮影し、今秋の撮影会用にと作品の構想をまとめているところである。大方の人は自分の故郷をお持ちだと思ふ。たまに帰ると地方によっては大きく変わっているところ、或いは昔のままだといった印象があると思ふ。当時そこに住んでいた頃の思い出の写真、人との出会いなど現在と過去との比較で何か作品にまとめてもいいのではないか。

また、自分自身を見つめ直した作品は作れないか。お孫さんの成長記録はどうか。ペットと生きる幸せ等は如何か、私の散歩道を歩きながら時代と共に街並みが替わってきた実感を作品に出来ないか。

とにかく身近なものを見つめ直して作品化への可能性を探ってみる、という事をやってみたら、何か作品を作るうえでのヒントになるかも知れない。今秋の映像フェスティバルを目標に作品を作りましょう。

岡本至弘副会長が

第51回和歌山県アマチュア映像コンクールで

和歌山観光連盟会長賞受賞

作品名 「丹後半島伊根の印象」

6分10秒

おめでとうございます。



4月例会のご案内

第4土曜日22日13時より。今月からは夜だった通常例会が昼間の例会となりました。時間をお間違えのなきようお願い致します。気候もよし、楽しい集いに皆様お集まりください。

日本を縦断する映像発表会

まずまずの大盛会で無事終了

副会長 岡本至弘

去る、3月19日（日）大阪市立中央図書館 5階 大会議室において、恒例の「第41回日本を縦断する映像発表会」が開催されました。大阪会場は、大阪市立中央図書館と日本アマチュア映像作家連盟の共同開催で毎年この時期に開催されるものです。今年も、大阪アマチュア映像連盟の協力で無事終わることができました。

この催しは、この3年間はコロナ感染防止対策のため、今回も入場制限されての開催となりました。昨年の入場制限は80名でしたが、今年は100名の制限でした。そのため300通余りのご案内を出して百数十名の応募があり、スタッフを除いて100名の方を当選としました。その結果、ご来場いただいた方は、スタッフ24名を含めて120名の参加数となりました。お世話いただいた OMC の会員の皆さんありがとうございました。

この発表会は、日本アマチュア映像作家連盟の全国の会員の作品ですので、優れた作品が多く鑑賞する価値があります。いい作品をたくさん見てご自分の作品作りに、是非役立てていただきたいものです



通常例会レポート

櫻便りも耳にする季節となり、街行く人の数もぐっと増えてきた感じです。外人観光客も多く見かけるようになってきました。

夜の例会はこの日が最後、第4土曜日25日14名の会員さんと9本の作品が出品されました。今回初めて司会役に上総秀隆さんが登場、名司会ぶりを発揮されました。また西村亀雄さんが何年ぶり？の作品出品をされ、やんやの喝さいを受けられました。

- 運営担当：司会 上総、書記 高瀬、YouTube 関係 高瀬、映写 江村、山本
メモリー記録 中川、受付・照明 宮崎、大久保の各氏
- 出席者：岩井、江村、大久保、岡本、上総、合原、高瀬、高田、坪井、中川、西村亀雄、宮崎、森下、山本の14氏

上映作品（書記は高瀬氏）

1, 天国に一番近い島「ニューカレドニア」 BD

高田幸夫

8分10秒



（作者コメント） 天国を探す旅にニューカレドニアへ行ってきました。そこには無垢で手つかずの自然があり、独自のメラネシア文化と洗練されたフランス文化の融合された所であった。まさに天国に一番近い島であった。

（書記コメント） ご夫婦で天国に一番近い島、ニューカレドニアに行かれた海外旅行

の作品。観光地の紹介だけでなく、地元の文化や土地の人々との触れ合いなども描かれ、旅行記にとどまらない作品に仕上げられている。夫婦で旅行しても画面に登場するのは、どちらか一人で、一人は撮影というパターンが少ないが、夫婦二人でというシーンが多いのは珍しく、微笑ましい。ただナレーションはもう少しクリアな方が良いという指摘があった。

2. GoproMax の操作手順と誕生会 B D

中川良三 4分55秒



(作者コメント) 360° 映像をたびたび撮影していますが、大変便利なカメラです。横着な私にぴったりのカメラと思っています。なぜなら一旦固定した場所に置くと、その周り全体が撮影できるからで、後は編集アプリで画像を切り取り、好きな作品が作れます。ただ湾曲した画像を嫌う方もおられるので、お遊びではないかもしれません。2月の合原会長の誕生会を編集してみました。

(書記コメント) 360° 撮影のカメラは普通では見られない、非常に面白い映像を創り出します。誕生会の映像はそれを駆使して上手く編集されている。しかしそれだけに留まらず、360° カメラならではの作品を見せていただきたいものです。

3. ナヤ・ミュージアムの起こり B D

上総修一郎 (編集・上総秀隆) 7分13秒



(作者コメント) 堺市中区にある登録文化財、兒山家住宅 (こやまけじゅうたく) で古い納屋を改修して古い農器具などを展示する計画。ボランティアが大勢参加して土間をたたいた。

(書記コメント) 古い納屋を改修してミュージアムをつくるといった過程が描かれている。特に大勢のボランティアが参加して土間の土を叩く様子を丹念に撮影、編集されている。撮影は上総秀隆さんの実父で平成28年に亡くなられた故上総修一郎さんとか。上総修一郎さんといえば、フィルム、ビデオ時代を通じて海外作品を得意とされ、多数の名作、傑作を発表された方だけあって、安定したカメラワークはさすがです。まだまだミュージアム作りは続きがあるようで、楽しみである。

4. 龍田古道 B D

江村一郎 8分



(作者コメント) 去年の「亀の瀬」が廃線と古道がごちゃになって分かりにくいところがあったようで、今回は龍田古道に焦点をあてる。ところが今年になって明治の廃トンネルでプロジェクトマッピングが始まった。早速取り入れて完成。そこに万葉集の龍田山を詠った3首を取り入れた。鏡大女「呼子鳥 いたくな鳴きそ 吾が恋まさる」 聖徳太子「家ならば 妹が手まかむ 草枕 旅にこやせる この旅人あはれ」 大友家持「龍田山 見つつ越え来し 櫻花 散りか過ぎなむ」

(書記コメント) 龍田古道は奈良時代、平城京と河内、難波を結ぶ官道として造られ、日本書紀にも登場し、その整備には聖徳太子が当たったといわれる、歴史ある古道。今回はそこに焦点を当て、制作されている。トップのタイトルのシーンは亀の瀬の廃トンネルのプロジェクトマッピングの映像で意表を突かれた感じ。それに続く霧に煙る風景も古道を描く作品にピッタリ。場面転換やプロジェクトマッピングの映像、万葉集の歌の見せ方など、かなり編集に力を入れられたものと思われる。

5. 雪中の梅

BD

高瀬辰雄

4分40秒

(作者コメント) 2023年2月15日、京都に雪が降った日に北野天満宮に行きました。梅は咲いたばかりでした。紅梅の花に雪が降り積もり、雪の中の撮影は多少苦労しましたが、なんとか雪中の梅をカメラに収めることが出来ました。



6. 京街道 枚方一大津

BD

山本正夢

11分50秒

(作者コメント) 幕府は大名と公家が接触するのを恐れ、大名行列が京都に入るのを禁止。そのため伏見から直接大津に向かい、一般人とは別のルートになる。



(書記コメント) 京街道は豊臣秀吉が築いた大阪城と伏見城を最短距離で結ぶため淀川沿いの堤を整備した街道といわれる。3月第二例会では起点の大阪高麗橋から枚方宿までだったが、今回は枚方から大津宿までをたどられた。道沿いの石碑や石仏、社寺や歴史跡など、それぞれのポイントを捉えて数多く撮影されている。ネットで調べると、その距離、およそ32キロ。歩くだけでも大変なのに精力的に撮影されているのには驚かされます。

7. ふるさと

DVD

合原一夫

6分38秒

(作者コメント) 懐かしの8ミリフィルム作品です。昭和49年(1974)フジの8ミリクラブにおいて柴辻英一さんの脚本・演出、モデルを使ったドラマ仕立ての撮影会でした。同じ田舎の風景を撮影する場合でも、こうした回想シーンを活かした作り方をすると、人に見せられる「作品」になるというモデルとして見てもらえればよいと思います。



(書記コメント) 故郷に戻った女性がバスから降り、家に帰る道すがら、柿の木を見て、子供のころ、柿取りで登った木から降りられず、祖父(?)に助けってもらったことを思い出す。そして神社にお参りしていると、迎えに来た祖父と出会い、一緒に家路に着くといった簡単なストーリー。台詞やテロップはなく、BGMと鳥のさえずりだけだが、話の内容はよく分かる。こうしたほのぼのとした話の撮影を皆で楽しんだ、懐かし

い良き時代の作品を見せもらった。

8. 丹波焼体験旅行

BD

宮崎紀代子

9分30秒



(作者コメント) 前回編集のものを講評頂き、少し旅の様子のcutも入れて改訂したものです。

(書記コメント) 昨年11月例会で映写された作品を再編集された。前回の作品では「老人会の旅行という事であれば、バスの中や楽し気なメンバーの姿、食事の場面が欲しい」といった講評があり、今回はこうした旅の様子を加えて、ボリュームのある内容に仕上げられている。特にメンバーの方が粘土を形作るシーンは丁寧に描かれており、雰囲気伝わってくる。ただそれに比べ、出来上がった作品の紹介があっさりまとめられたラスト部分にひと工夫欲しいように思います。

(会長コメント) 書記のラストコメントのように、ラストの持っていきように工夫が必要です。作品をパラパラと紹介するのに作者の作品の焼き物を最後に出して、それにズームアップし、ズームバックしたら、作者が、その茶碗でお茶を頂いているといった構成で最後の締めくくりをしたらよいと思います。

いい記念品になりました等のコメントの字か、ナレーションを入れて印象を強めるのもいいかと思えます。

9. 妻恋道中

BD

西村亀雄

4分



(書記コメント) ♪好いた女房に三行半を…「妻恋道中」の歌にのって作者扮する新人スター西村亀之助さんが登場。一度はやってみたかったという股旅姿。東映太秦映画村で時代劇スターに扮装して奮闘。終始照れているところが新人スターらしい。理屈抜きにご本人が楽しんでおられるのが画面にあふれている。なお会場での映写は4分だったが、なぜか預かった映像データは倍の8分余。一旦ENDになったような黒の画面の後「春待ち花」の歌にのって続きの結構楽しい映像があったが、挿入歌が著作権に抵触するためYouTubeにアップできず、観てもらえないのが残念です。

(会長コメント) 電気店を経営しておられる作者の日常生活ぶりの描写(紹介)、店先で見る時代劇、「俺もあんな股旅姿になってみたいものだ」と思い、やってきた東映太秦映画村。夢がかないましたー。といったストーリーにしたら、この作品一般の人にも共感を得られる作品になることでしょう。ラストは夢がかなって仕事にも熱が入る様子で終わったらどうでしょうか。題名も「妻恋道中」ではなく「やってみたかった股旅姿」みたいなタイトルは如何でしょう。楽しい作品なので前後を工夫されれば秋の公開映写会にも充分通用する作品になります。

第二例会レポート

(副会長 岡本至弘)

3月第2例会は、第3木曜日の16日13時より開催。合原会長は、「日本を縦断する映像発表会」東京会場にお出かけになり不在の例会となった。春光天地に満ちて快い時節に移ろう中、11名の会員が出席した。今年から世話役のメンバーが一新されてのスタートとなった。司会役には、初参加の植村朝一さん、古くからの映像づくりのベテランで名司会でした。また、書記役には、万葉文学に詳しい、鉄具嘉夫さん、新しい感覚での講評に期待がかかります。

■ **運営担当**：司会 植村、書記 鉄具、YouTube 関係 高瀬、映写 岡本、鉄具 記録 江村、受付け照明 宮崎、森下の各氏

■ **出席者**：岩井、植村、江村、岡本、上総、高瀬、鉄具、中川、宮崎、森下、山本の11氏

上映作品（書記は鉄具氏）

1. 春を呼ぶ護摩供養 BD

岡本至弘 13分40秒



（作者コメント） 2月例会で、江村会員がもってこられた作品「鴨高田」の同じ神社で、平成29年3月19日に撮影したものです。今年は、コロナで中止になっていたが、3年ぶりに3月19日に実施されます。6年前の作品をご覧ください。

（書記コメント） 護摩供養は密教の修法で住職になるための修行のようですが、その様子を撮影したものです。山伏さんのほら貝、護摩焚きなど古風な行事が続きます。密教の修法なのに神主さんが柏手を打ってお祈りするの面白いと感じました。般若心経をお祈りしていますが、真宗の威力と功德を説く説と、色即是空 空即是色の心という説もあるそうです。最後に護摩を焚いて、その灰の上を裸足でわたるのも大変な修行ですね。

2 北丹鉄道 BD

江村一郎 8分



（作者コメント） 北丹鉄道は1923年（大正12年）開業、福知山駅から5駅を経過して河守駅までの13キロを由良川沿いに結ぶ路線を運営していた鉄道会社です。

路線の多くは建設資金の乏しさから由良川沿いに敷設されていたが、水害を受けやすい地域であったため、由良川が洪水になると列車がよく止まっていたという。

宮津への延長もかなわず974年（昭和49年）に廃止となったが、その後北近畿タンゴ鉄道宮津線となり、現在は京都丹後鉄道（丹鉄）として北丹鉄道の意思は継承されている。

(書記コメント) 廃線紀行です。20回の作品です。福知山市に当時の機関車が展示されています。今は田舎の川や野原、河川敷の旧線路、朽ちた枕木、昔のポストなど、丹念に探して撮影されています。廃線になったのは利用者が減って来たのが原因でしょうが、活動していた時の当時の施設が路線の各所に残っていて、それを踏み台にして沿線の町々は生きているのでしょう。

3. 京街道 BD

山本正夢 9分10秒

(作者コメント) 東海道と言えば広重の53次が有名ですが実際は京都からさらに大阪までの57次がありました。

(書記コメント) 京街道は大阪から京都へ行く街道です。昔は今の天満橋の八軒屋(この作品の中にあります)から三十国船で伏見、伏見からは歩いて京へ、物資は高瀬船で京へ行くことになりましたが、歩くとすればこの作品のように京まで行くことができるのですね。この作品は、大阪高麗橋から枚方までの街道を取材したものです。大阪から京橋、守口から枚方へ、昔の街道の跡を丹念に取材されています。よくそこまで調べたものだと感服いたします。ずい分と事前調査をされたものだと思います。またこの街道を僅か一日で取材されたそうですから驚きです。研究論文か教科書のような感じで見させていただきました



4. 雪の銀閣寺 BD

高瀬辰雄 5分50秒

(作者コメント) 1月下旬、京都に大雪が降った朝、銀閣寺を訪れました。着いた時は昨夜から雪もほぼ止んでおり。時折、舞う程度でした。しかし俯瞰撮影ができる小高い場所は雪のため通行禁止。3日後に改めて、行き、撮影しました。

(書記コメント) 金閣寺と銀閣寺は足利時代の建造物です、金閣寺が能、狂言、水彩画などの北山文化、銀閣寺は茶道、華道、枯山水の東山文化と比較説明されていますが、映像を見ていますと、そのような感じが何となく分かるような気がしました。一見派手な金閣寺に比べて、銀閣寺はひっそりとした感じがいたしました。雪の道、木々、遠くから見た建物の屋根など、雪に包まれた銀閣寺の佇まいが心に残りました。またBGMもよくマッチしていました。



5. 東大阪文化祭「壺の集い」 BD

中川良三 2分35秒

(作者コメント) 岡本氏の依頼で東大阪文化祭に。岡本氏は、東大阪の河内音頭を中心に舞踊クラブを運営されています、東大阪で行われた文化祭に出演され頑張っておられます。今回は撮影を依頼されて行ってきました。只、360°カメラで撮った映像が、タイムラプスという連続写真の撮り方になってしまったの



で、それも面白い題材になると考えて、今回編集してみました。

（書記コメント） 珍しいビデオを見せていただきました。タイムラプスも面白いものですね。二つの踊りを画面に重ねていましたが、何となくリズムが合っているようで面白い映像です。ビデオとしては面白い作品ですが、通常、観客席で見る人からは、その踊りの進行を見ていたいものです。催し物の撮り方としては舞台やステージを正確に撮ることが基本で、また、私は、出演者は全員必ず一回は画面に出てきて誰かが分かるようにしています。

別にそれが良いとは思いませんが、この作品を見て感じたことは、そのような概念とは違って新しいビデオ芸術の始まりと云う予感を感じました。

次々とこのような作品を発展させて作成することを期待いたします。

6. 八坂神社と祇園寺 BD

鉄具嘉夫 18分27秒

（作者・書記コメント） 平成17年に撮影したものを作り直しました。八坂神社の宮司さんのお話を聴くことが出来ましたので、宮司さんの話を元に編集しました。少し長いのですが祇園祭のことがよく分かると思います。



7. 堺「収穫祭能」 BD

上総秀隆 8分42秒

（作者コメント） 能・狂言は歴史をたどると田楽の流れを受けている。堺市郊外の田畑に赤もうせんを敷いてめでたい演目が奉納された。天候不良のため昨秋から延期になっていたものが三月に実現した。



（書記コメント） 普通は舞台の上で演じる能ですが、今回は初めて田畑に毛氈を敷いて演じることは初めですと言われていたように珍しいことのようにでした。時間を気にして途中で切っていましたが、続けて見たい気持ちでした。能を見たことがない私でもなんとなく能の面白さが分かるような気がしました。

8. クリスマス会「水戸黄門」(オレオレ詐欺の巻) BD

宮崎紀代子 19分30秒

（作者コメント） 老人会の催しで、毎年12月にクリスマス会が開催されます。12月にはお世話をしているスタッフが劇を演じるのが恒例になっています。今年は2年ぶりに開催されました。

（書記コメント） このように立派な老人会があるのですね。練習もずい分時間をかけてしたのでしょね。内容も最近問題になっているオレオレ詐欺を取り上げるなど工夫されています。

